

需要側の動向と期待

(建設業3団体)

平成19年 6月 7日

建設業3団体 グリーン調達促進WG

座長 福田晴男

建設業3団体について

【構成】

- (社) 日本建設業団体連合会
- (社) 日本土木工業協会
- (社) 建築業協会

【日建連・環境委員会の構成】

1. 地球環境専門部会

- 1) 環境マネジメントWG
- 2) 地球温暖化防止対策WG
- 3) グリーン調達促進WG

2. 建設副産物専門部会

(社) 日本建設業団体連合会 ホームページ: <http://www.nikkenren.com/>

総合建設業における対応 ①

【現状把握】

- ・違法伐採総合対策推進協議会への出席、木材・木材製品業界に対するヒアリング、行政との意見交換などにより、「合法木材・木材製品」の調達に関する動向、現状把握を行っている。

【調達に際して】

- 1) 「材来品」の調達は、協力会社に対し、**材工共で発注**（直接購買は殆どなし）
- 2) 「合法木材・木材製品」の調達の際は、協力会社に対し、品質、調達コスト、納入量などについての情報提供を求める。
また、“合法性証明書”の添付を要請する。

総合建設業における対応 ②

【 合法性の証明について 】

- ・発注者よりの要請など、必要に応じて、「合法性証明書」に加え、「合法木材・木材製品の履歴・証明追加情報」の提供を求める。

【 公共工事 】

- ・公共建築工事標準仕様書、契約図書などに基づき、「合法木材・木材製品」を調達し施工する。
また、“ 合法性証明書 ”などを提出する。

【 民間工事 】

- ・発注者の要請・環境方針・仕様などに応じて、「合法木材・木材製品」の採用提案、調達の要否を決定し、設計・見積に反映し施工する。
-

建設業 3 団体の環境保全活動

「建設業の環境自主行動計画」に基づく活動を実施

- ・ 1996年11月：3団体で「建設業の環境保全自主行動計画」策定。
 - ・ 1998年10月：「建設工事段階で発生するCO₂を、1990年度を基準として2010年までに12%削減すべく努力する」基本目標を掲げた「自主行動計画第2版」を策定。
 - ・ 1999年 4月：緑化の推進、CO₂以外の温室効果ガスの排出抑制を加えた「自主行動計画第2版（増補）」を策定。
 - ・ 2003年 2月：項目を整理し、「自主行動計画第3版」を策定。
「グリーン調達促進」を実施項目に追加
 - ・ 2006年 3月：一部、目標の見直しを行い、
「自主行動計画第3版（改訂版）」を策定。
 - ・ 2007年 3月：新たに2010年までの目標を定め、全体構成および重点実施項目等を見直しを行い、
「自主行動計画第4版」を策定。
-

「建設業の環境自主行動計画」

第4版について（第3版からの変更点）

◇ タイトルを「環境自主行動計画」に変更

- ・ 環境と経済の両立を視野に、建設業として、自然環境の再生や環境創造など幅広い役割を考慮して、タイトルから“保全”を削除

◇ 行動計画の全体構成を見直す

- ・ 新たな重点活動項目を含めて項目を分類

A 環境経営（総合的課題）

B 環境保全（事象別課題）

C 環境配慮（横断的課題）

◇ キャッチフレーズを掲載

“ 環境で新たな豊かさを創出する建設業 ”
- 美しい地球と未来の子供達のために -

C 環境配慮（横断的課題）

C－1 環境配慮設計の推進

◇ 建築部門における環境配慮設計の推進

- ・ CASBEEの利用促進
- ・ 環境配慮設計に関わる技術の開発、改良の推進

◇ 土木部門における環境配慮技術の提案の推進

- ・ 環境保全、自然再生および環境創造を考慮した技術・手法の提案

C－2 グリーン調達促進

◇ 重点グリーン調達品目の設定と調達促進

- ・ 建設資機材等のグリーン調達の促進
- ・ 事務用品等のグリーン調達の促進

C－3 環境保全技術活用の促進

◇ 環境保全技術全般の整備と活用の促進

- ・ 環境保全等を考慮した技術・手法の整備と活用の促進
-

C-2 グリーン調達 ①

《現状認識》

グリーン購入法の施行以来、国等の公共工事においては、グリーン調達の対象とする特定調達品目の見直しが毎年行われており、「京都議定書目標達成計画」(2005年)を受けてのノンフロン断熱材の使用や、伐採国における合法的木材・木材製品の使用などが判断基準に追加された。また、会員企業のグリーン調達については大幅な進展が見られるものの、さらなる推進を要する状況にある。

建設業は典型的な多資材多消費型産業であり、建造物のライフサイクル全般にわたって環境に対し、直接的・間接的に様々な影響を及ぼすため、資源循環型社会形成、地球温暖化対策、建設副産物対策、有害化学物質対策、生態系保全、環境創造などに寄与する品目の積極的な調達促進を図っていくことが重要である。

C-2 グリーン調達 ②

《取組項目》

C-2-1 重点グリーン調達品目の設定と調達促進

《目的》

建設業におけるグリーン調達に関する意識を高めて日常活動として実施するとともに、重点グリーン調達品目を設定して、一層のグリーン調達促進を図る。

建設業における重点グリーン調達品目：

環境負荷低減や環境創造などに寄与する建設資材・設備機器・建設機械などの調達や各種システム・構法・工法などの採用において、重点的なグリーン調達の対象として設定する品目。

建設資材の品目候補としては、

流動化処理土、高炉生コン、代替型枠、再生木質ボード、合法性木材・木材製品、ノンフロン断熱材などがあげられる。

C-2 グリーン調達 ③

《実施方策》

会員企業：

① 建設資機材等のグリーン調達の促進

- ・「国等の特定調達品目」、「エコマーク商品」などを参考とする重点グリーン調達品目の設定
- ・自社設計段階および施工段階における優先的な調達の促進
- ・調達実績の評価
- ・発注者や設計者に対する採用提案の促進

② 事務用品等のグリーン調達の促進

- ・オフィスや作業所における事務用品や事務機器等のグリーン調達の促進
-

C-2 グリーン調達 ④

3団体：

① 会員企業への情報提供および啓発

- ・グリーン調達に関する意識向上および重点グリーン調達品目の設定・調達促進に向けた情報の作成・提供
- ・グリーン調達の促進に向けたセミナー等の開催

② 関連業界・行政との情報交換の実施

- ・グリーン調達品目に関する情報交換会の実施や検討会等への参画

【参考】

「建設業のグリーン調達促進に関する活動紹介」の入手先：

(社) 日本建設業団体連合会 ホームページ

<http://www.nikkenren.com/green/green.html>

A 環境経営（総合的課題）

A－1 環境経営の充実

◇ 環境リスクの低減

◇ EMSの導入・継続的改善
および 環境情報公開の促進

◇ 環境社会貢献の促進

- ・ 環境社会貢献の意識の向上
- ・ 地域の緑化・美化活動等への参加・協力
- ・ 環境ボランティア活動の促進

B 環境保全（事象別課題）①

B－1 地球温暖化対策

- ◇ 施工段階におけるCO₂の排出抑制
- ◇ 建物運用段階におけるCO₂の排出抑制

B－2 建設副産物対策

- ◇ 産業廃棄物品目別の対策
 - ◆ 建設発生木材
 - ・ 新築工事における発生抑制
 - ・ 大規模造成工事等における場内利用
 - ・ 分別解体等の徹底
 - ◆ 建設汚泥
 - ◆ 建設混合廃棄物
 - ・ 新築工事における発生抑制
 - ・ 解体工事における分別解体等の徹底
 - ◆ その他の建設廃棄物
- ◇ 建設発生土の対策

B 環境保全（事象別課題）②

B－3 有害物質・化学物質対策

◇ 改修・解体工事における対策

◆ 石綿

◆ PCB、フロン、ダイオキシン等

◇ 新築工事における化学物質対策

B－4 生態系保全

◇ 施工段階における生態系保全の推進

・施工段階における生態系との共生を図る技術開発の促進

・都市部における自然環境整備の提案

B-2-1-1 建設発生木材 ①

《目的》

建設発生木材は、パーティクルボードや製紙原料等に再生利用されているが、最近ではバイオマス発電の施設も相次いで建設されており、従来の利用用途から大きく拡大しようとしている。

今後はこれらの施設での需要が大幅にアップすることが予想される。バイオマス発電等の利用用途の拡大により、建設発生木材の再資源化率のアップを図る。

《目標》

“ 建設発生木材の再資源化等率を2010年度までに95% ”

「建設リサイクル推進計画2002」に示されている2010年度の目標（参考値）95%を暫定目標とし、新たな目標値が定められた時点で見直す。

B-2-1-1 建設発生木材 ②

《実施方策》

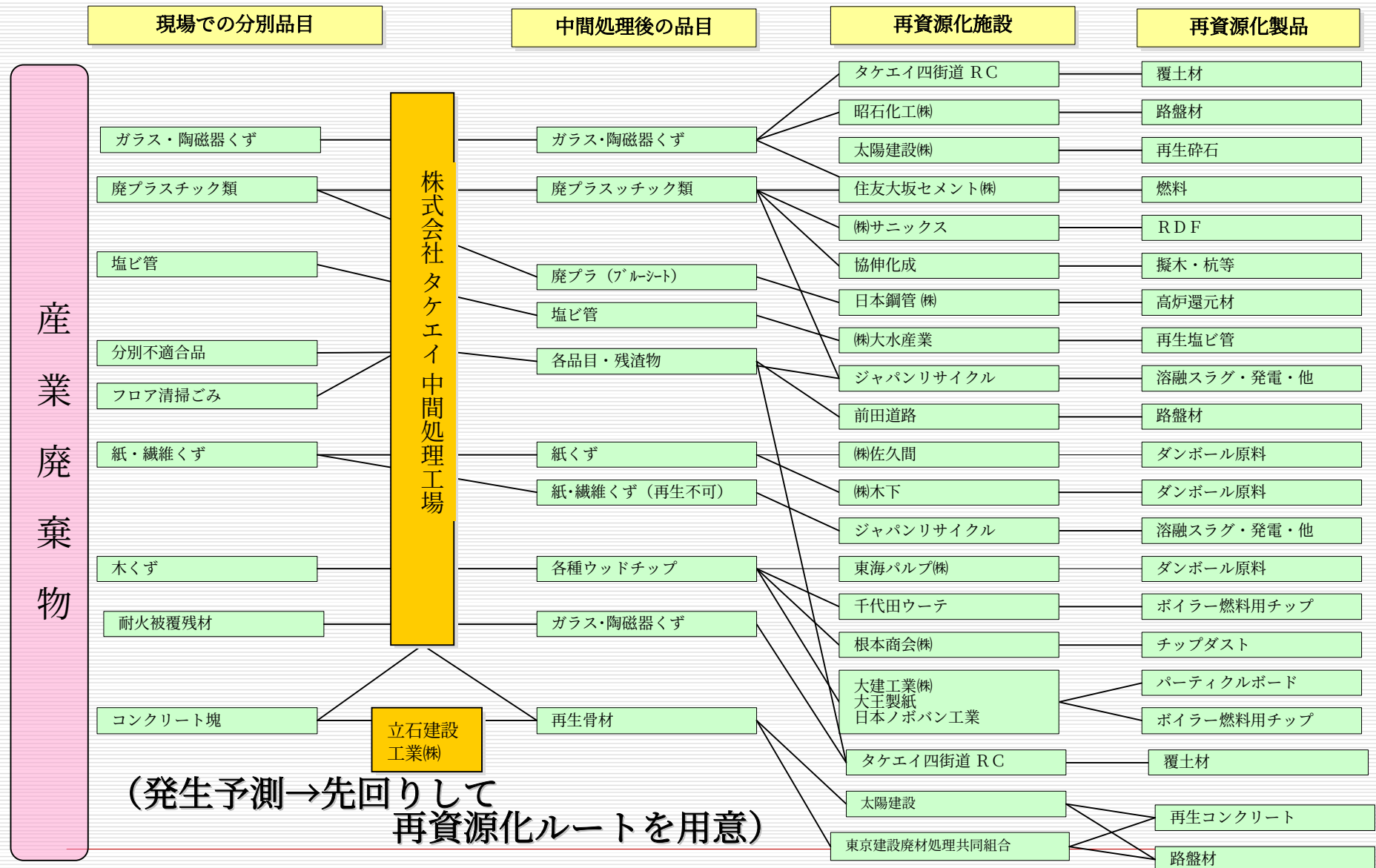
会員企業：

- ① 新築工事における発生抑制
 - ・ 代替型枠、システム型枠の利用促進、工場でのプレカット化等による廃棄物の発生抑制に資する施工方法の採用
- ② 大規模造成工事等における場内利用
 - ・ 伐採材等のマルチング材、コンポスト等としての利用推進
- ③ 分別解体等の徹底
 - ・ 解体工事における分別解体・分別排出の徹底

3団体：

- ① マテリアル・リサイクルおよびサーマル・リサイクルの推進
 - ・ マテリアル・リサイクル推進はもとより、バイオマス発電等サーマル・リサイクルの拡大
-

再資源化ルートの確立



ご清聴ありがとうございました。